

インド ムンバイメトロ5号線 信号設備一式の受注内定

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）および子会社である Nippon Signal India Private Limited（以下、NSI）は、インドの鉄道システム（車両他）製造の大手企業である Titagarh Rail Systems Ltd.（以下、TRSL）より「ムンバイメトロ5号線 信号設備一式」の受注を内示いただきました。

当社グループは、無線式列車制御システム SPARCS（当社製CBTC※¹）、ATS※²、電子連動装置、CCTV、現場機器等の設計・製造・工事施工・保守を一括して提供いたします。

インド国内のメトロ案件における当社グループの確かな案件履行能力と、これまでの安定した稼働実績をご評価頂いた結果、受注内定に至り、正式契約締結に向けた手続きを進めております。

「アーメダバード・メトロ事業（第2期）」ではTRSL社が提供した車両と当社が提供した信号設備でインタフェースの実績があり、信号システムの設計・施工を担当したNSI社は「Best Safety Contractor Award（最優秀安全施工業者賞）」を受賞しました。同社の高品質な現場作業遂行能力と当社の設計・製造に関する技術力を組み合わせ、本案件の確実な遂行を図ることで、鉄道利用者の利便性向上に寄与するとともに、インドにおける安全で快適なまちづくりに引き続き貢献してまいります。

※1：CBTC…Communication Based Train Control の略。軌道回路等の閉塞によらず、無線により地上車上間で大容量データを通信し、列車を制御および防護するシステム。

※2：ATS…Automatic Train Supervision の略。列車を正確に効率良く運行させるための統合制御システムで、列車運行計画の作成・管理、列車運行の集中監視・集中制御などを行うシステム。

< 案件概要 >

受注金額	合計 約50億円（16.4億インドルピーと21.7億円） ※当社グループの請負額合計、1インドルピー＝1.73円で換算
施工内容	（1）信号システム新設工事（15駅、約25km） （2）5年間の保守・メンテナンス ・当社はシステム設計、信号装置設計・製造を担当 ・NSI社は信号設備設計、現場機器の調達、工事施工管理、保守を担当
履行期間	2026年1月～2030年3月（約4年間を予定）

ムンバイメトロ5号線路線イメージ



問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp